



「人のことを思う心」が輝いた9月

保護者の皆様、地域の皆様、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申しあげます。

さて、9月は子供たちの「人のことを思う心」が、一段と輝きを放った月となりました。6年生を中心となって行った、難民の方々への支援のための募金活動は、小さな学校とは思えないほどの大きな成果を上げ、私たち教職員も胸を熱くする出来事でした。

この募金活動は、子供たちが自らの意思で考え、行動したもので。その陰には、常に子供たちの成長を願い、温かく見守ってくださる保護者の方々や、地域の方々の支えがありました。子供たちは、その愛情をしっかりと受け止め、自分たちにできることは何かを考え、行動に移したのだと思います。

私も先日、心を揺さぶられる映像を見る機会がありました。「人生でいちばん大切なものは」というタイのCMです。貧しい青年が、見返りを求めずに見知らぬ母子を助け続ける物語は、ただひたすら「人のことを思う心」を持ち続けた青年が、最も大切なを見つけるという結末でした。

このCMと、北粉浜小学校の子供たちの姿が重なって見えました。子供たちが育んだ「人のことを思う心」は、皆様のご支援という温かい土壌があってこそ、芽生え、花開いただと感じています。

皆様のこれまでのお力添えに、改めて深く感謝申しあげます。今後とも、子供たちが思いやりの心を大切に、健やかに成長していくよう、本校の教育活動にご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願ひ申しあげます。